

Smart Access

携帯電話をチケットに ジェイデータ・ハピネットなどが技術 ---IDタグに座席・決済情報---

情報技術関連ベンチャーのジェイデータ(京都市、佐々木耕司社長)など三社とが
ん具卸のハピネットは共同で、携帯電話をコンサートなどのチケットとして利用す
る技術を開発した。携帯電話に非接触IDタグ(管理票)を接続し、チケット販売会
社が送信した決済確認のID(身分証明)や座席番号のデータを書き込む。データ
の暗号化も可能なため、偽造の心配もなく「チケットレス」を実現できる仕組みとし
て、チケット会社などと連携したモデル事業を2001年中に始める構想だ。

暗号化で偽造を防止

ジェイデータ、ハピネットとテレディック(川崎市、羽山雅英社長)、クラリネット(東
京・港、石川勝社長)の4社が新技術を開発した。ビジネスモデル特許を特許庁に
申請している。

チケットの利用者はイベント雑誌に掲載している数字コードを携帯電話に入力し
て目的のイベントを予約する。クレジットカード番号を入力することで料金を決済す
る。

チケット会社が決済を確認すると、ID番号や座席番号などをメールで返信する。
携帯電話は受け取ったデータを自動的に追記型タグに書き込む。入場時は簡易
読みとり機でタグのデータを確認するため手軽に利用できる。

数字にして約200桁のデータを受信し書き込めるため、IDを暗号化して送信するこ
とも可能。4社は携帯電話でチケットを予約するだけでなく、チケットの印刷・郵送
も不要にするシステムの需要は高まると見ている。

携帯電話の画面にチケット情報などを配信する技術はすでにあるが、新システム
はバーコードの読み間違いなどの心配もなく、実用化しやすいという。

4社では、びあ(東京・千代田区)などチケット販売大手やイベント企画会社などに
今回のチケットレス・システムの採用を働きかける。2001年中に地域限定型のイ
ベントなどで実用化したいとしている。

ジェイデータが数字コードでネットに接続する技術、テレディックがデータ送受信
と書き込み、クラリネットがIDなどデータ管理の技術を主に担当した。

チケット会社やイベント会社と連携したシステム実用化はハピネットを中心に進め
る。この技術はイベントのチケット以外にも、映画館の座席予約やレンタルビデオ
店などの会員管理に使えると見ている。

2000/12/1 日経産業新聞

J-DATA

Copyright© J-DATA Co.,Ltd. 1996-2001